

Data(2014 年 8 月現在)

所在地：〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880

スタッフ：神山幸枝(特任教授)、石川由美子(講師)、会沢紀子(講師)

URL <http://www.dokkyomed.ac.jp/>



獨協医科大学看護学部看護学科 地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学部は、2007(平成 19)年に獨協医科大学に設立されました。大学全体の基本方針の 1 つに「地域の人々との交流を通して、修得した知識や技術を地域住民の健康や予防のために提供する」があり、看護学部の方針にも「看護の発展や看護の質の向上に貢献できる臨床看護実践能力を育成する」があります。北関東の医療・保健の要として、医学部・看護学部ともに地域医療に貢献できる人材育成に努力しています。

Education

どのような教育をしていますか？

本学は 2012(平成 24)年度のカリキュラム改正以降も、保健師養成課程の科目履修が大学卒業に必須となっています。「地域医療に貢献できる人材」育成のためには、地域連携、ネットワークづくりに関心を持ち、予防活動への深い理解が必要です。地域の健康課題を的確に把握し、効果的な公衆衛生看護活動を展開できるように教育しています。

本学では、1 年生から早期体験実習を行い、さまざまな地域の人々と、現場で活躍する看護師、保健師とのふれあいを体験し、地域や看護・保健活動への関心を高める機会にしました。また新カリキュラムでは、人々が生活する地域と健康問題の理解をよ

り一層進めるとともに、医学部との合同講義などから、関連職種との連携調整の技術を修得できるよう図っています。

Research

どのような研究をしていますか？

各教員の個々のテーマを推進すると同時に、今後の課題として、現在展開している実習・授業・演習を評価しながら、新カリキュラムを効果的に進めていけるような実践研究に取り組んでいこうと考えています。また、地域における健康課題は多種・多様にあり、そうした支援活動などへの研究的な関わりも期待されているので、それに応えていけるような研究活動を実践していきたいと考えています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

4 年生前期の実習では、市町・県の保健所の協力で、効果的な学習がなされています。卒業生の市町への就職も 4 年目を迎えました。新人保健師の成長は、現場・教育両者にとって大きな課題であり、まずは卒業生の現場での困難や問題意識をともに考え、保健活動に返していけるような大学側の体制をつくりたいと考えています。そのためにも早急に地域との連携を密にした研究や現任教育などでの協力体制を進めていくことが課題です。

ひとこと

まだ 1～4 期生のみですが、卒業生が市町でのびのびと頑張っている姿を見ると、あらためて教育の大切さを身に感じます。緑豊かな北関東の地で、現場を愛し、自分の力を精一杯注げる保健師として育っていける教育ができるように努めたいと考えています。

……神山

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募方法 ●電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp